

第1部

# 中国残留孤児が たどってきた道と 日本社会に 問いかけたこと

記念  
講演

講師

浅野慎一 先生  
(神戸大学大学院教授)



1956年 神戸市出身 中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会代表世話人。主な著書に『日本で学ぶアジア系外国人』(大学教育出版)、『異国の父母 中国残留孤児を育てた養父母の群像』(共著、岩波書店)、『中国残留日本人孤児の研究 ポスト・コロニアルの東アジアを生きる』(共著、お茶の水書房)など

2017. **11.11** [土]

参加費  
500円

高知市立 自由民権記念館 民権ホール  
開始 13:30 ▶ 終了 16:00

演芸 (出演 中国帰国者の会)

第2部

二胡演奏  
歌

秧歌舞 (中国の民間芸能、正月や祭りなどに踊る) 他



1945年8月9日、ソ連が日本に参戦し、中国東北地方に侵攻しました。その日を境に、数奇な運命をたどることになった「中国残留孤児」は、その後約40年もの長期にわたって祖国日本へ帰ることができませんでした。

浅野慎一先生は、日中両国で約450人もの残留孤児、残留婦人やその家族に聞き取り調査をし、なぜ残留孤児となったのか、なぜ帰国することができなかったのか、そして帰国したのちに「日本人として、日本の地で、人間らしく生きる」ことを求めて立ち上がった国賠訴訟が、日本社会に問いかけたことは何かを明らかにしてこられました。先生は2013年11月に高知県の中国残留孤児と家族への聞きとり調査にも来られました。

主催●高知県中国帰国者の会 お問い合わせ●088-842-4852 (中野ミツヨ)